

『附属中学校が甘泉外国語中学校（上海）を訪問し、交流を行いました!!』



まず初めに、学校内を案内していただきました。



1954 年創立の中学校で、1000 名以上の生徒が日本語を学んでいるそうです。校内はとても広く、また、歴史を紹介するスペースや、日本風の茶室などがありました。

次に、自己紹介・佐賀のことに紹介しました。



始めに自己紹介をして、お互いのことについて知りました。次に、附属中の生徒が佐賀のことについて紹介しました。現地の生徒は、興味深そうに聞いていました。

最後に、SNS についての討論を行いました。



上海では、SNS という言葉は普及しておらず、LINE や FACEBOOK は使われていませんでした。代わりに Weibo や WeChat を使っているそうです。

<感想>

○話す言葉が違って、同じ音楽を聴いている人がいることがわかって、「音楽に国境はない」ということは本当なのだと感じました。（1年女子生徒）

○上海交流は、私にとって世界を知り、国際的な視野を広げるきっかけになりました。とても貴重な経験ができました。（1年女子生徒）

○私はこの交流会で言葉や文化の違いに戸惑いながらも充実した交流、学習をすることができました。（2年男子生徒）

<交流の成果と今後の展望>

甘泉外国語中学校との交流会では、佐賀のことを紹介したり、SNS との関わり方について討論したりしました。その中で、使われる言語や文化は違って、ジェスチャーや相手に対する態度で自分の気持ちや考えを伝えられるということを学びました。今後、今回の交流で学んだことを普段の生活の中で活かせるようにしていきたいです。

